

表題写真　:秋のやくらいガーデン

▼INDEX▼

■【内部監査情報】
・2025年度内部監査（安全衛生管理の監査）を実施します
■【監査ニュース】
・東北大　研究成果実用化へ新組織　世界で活躍する若手登用（若手研究者と共同研究を推進する新組織「ゼロ・インスティチュート」を設立発表 【8/1　河北新報】 他12件
■【連載企画 ： オールカンサニッポン！】
・競争的研究費の留意点（ここがチェックポイント！）
■【Audit Cafe】
・イスの上に〇〇



内 部 監 査 情 報

・2025年度内部監査（安全衛生管理の監査）を実施します

いよいよ10月2日から「安全衛生管理の監査」が始まります。本監査では「国立大学法人東北大学安全衛生管理規程」等に基づいて、適切な安全衛生管理が行われているか、また、2024年3月に制定された「国立大学法人東北大学自律的な化学物質管理に関するガイドライン」及び2025年3月に具体的な運用方法が策定された「国立大学法人東北大学自律的な化学物質管理の実施マニュアル」に基づき、適切に化学物質管理が行われているか等について、監査を実施します。

対象部局の皆様には既に実施通知を発出済みですが、対象部局ではない方々におかれましても、上記規程やマニュアル等を改めてご確認いただければと思います。

今年度の監査はすべて実地により行います。日々の業務でお忙しいこととは存じますが、内部監査の実施にご協力のほどよろしくお願いいたします。

【内部監査計画・報告】の詳細は、コチラ↓

https://www.bureau.tohoku.ac.jp/audit/2-2index.html

監査ニュース

・東北大　研究成果実用化へ新組織　世界で活躍する若手登用（若手研究者と共同研究を推進する新組織「ゼロ・インスティチュート」を設立発表）【8/1　河北新報】
・北大　助教学生に暴力複数人けが　親睦会、酒に酔い【8/19　毎日新聞】
・大学交付金概算要求 5.9%増【8/26　読売新聞】
・東大　院試不適切優遇　一部の願書提出期限延長【8/26　毎日新聞】
・還流で背任疑い学校幹部を逮捕（名古屋葵大などを運営する学校法人越原学園の太陽光発電をめぐる）【8/28　日経新聞】
・尚絅学院大学　出題ミス【9/5　読売新聞】
・東北、めざせ「シリコン回廊」　産学官、取り組み加速【9/18　日本経済新聞】
・科学技術　安保と「連携」　基礎研究力向上欠かせず【9/18　読売新聞】
・世界トップレベル大学院教育　文科省、名大など6大学選定【9/18 日刊工業】
・東京女子医大　元理事長提訴　不正支出 2.5 億円賠償請求【9/18　産経新聞】
・東北大、防衛基礎研究の助成に採択　容認へ転換　学内に反発も【9/20　河北新報】
・高度医療　膨らむ赤字　大学病院経営難【9/22　読売新聞】
・無期転換直前に契約終了 701 人国立大学別に判明【9/25　毎日新聞】

連載企画



若手事務職員からのお便りを取り上げ、
監査について一緒に学んでいく深夜ラジオ。
第14回目のテーマは、「競争的研究費の留意点（ここがチェックポイント！）」です。

ALLKANSANIPPON ALLKANSANIPPON ALLKANSANIPPON ALLKANSANIPPON ALLKANSANIPPON ALLKANSANIPPON


研太

はじまりましたオールカンサニッポン！RP（ラジオパーソナリティ）は研太です。リスナーの若手事務職員からの疑問や質問を紹介し、わかりやすくお答えしていきます。
今回は、「先日、競争的研究費の監査を受けて、競争的研究費のルールを再度確認したところですが、今後競争的研究費を執行するうえで、特に気を付けたほうがいいポイントについて教えてください」といただきましたので、早速、説明していきましょう。

「競争的研究費の監査」は、7月～8月にかけて全12部局の往査が終了しました。対象部局の皆様には、お忙しいところ、ご協力いただきましてありがとうございました。

対象部局の皆様は 「競争的研究費の監査」が終了し、ホッとされていることと思いますが、今回は対象部局とならなかった皆様にも含め、HOTなうちに、競争的研究費ならではの注意点について、いくつか事例をあげて考えてみたいと思います。これってOK？？



ケース1： 新規採択課題の科研費で、前年度に研究期間が終了した科研費の成果発表に係る論文投稿料を支出していた。

【正解】 × 当該研究課題とは異なる研究課題に係る支出をすることはできません。



科研費の場合、研究成果を発表する場合には、科研費により助成を受けたことを必ず表示し、論文のAcknowledgment（謝辞）又は所定の箇所に、「JSPS KAKENHI Grant Number JP8桁の課題番号」を必ず含めることになっているため、支出の際には**論文に記載されている課題番号をよく確認してください。**

このケースの場合には、研究期間が終了した研究課題に関する論文であるため、大学運営資金など使途に制限のない財源で支出することになります。

（参考） 翌年度以降に継続する同一の研究課題である場合

本来、補助金課題は原則年度ごとに別の補助事業として扱う必要がありますが、研究の継続性を鑑み（当然に前年度の補助事業内容と継続・関連するものとして）、論文の内容自体は前年度までの研究成果をまとめたものであっても、翌年度の直接経費から支出することは可能です。（←このケースに該当するか要確認！）

なお、基金課題については、補助事業期間内であれば、年度にとらわれずに研究費を使用することができます。

ケース2： 翌年7月から1年間の雑誌定期購読料を当年度の科研費（補助金課題）で前払いしていた。

【正解】 × 補助金の課題では翌年度に納品されるものは支出できません。



雑誌の定期購読やサブスクリプションなど、一定期間ごとに納品やサービスの利用の確認を要するものについては、**補助事業期間中に納品やサービスの提供が終了するかどうかを確認してください。**

なお、翌年度にまたがる期間のソフトウェアライセンス等を契約する場合には、実際に当該年度に使用する目的で購入し、納品の確認も行っていれば、当該年度の科研費から支出することは可能ですが、残りの補助事業期間内に収まる契約単位がなく、必要最小限の契約期間となっているか等、契約に当たっては十分に注意してください。

補助金課題の科研費から支出する物品の納品、役務の提供等は、補助事業を行う年度の3月31日までに終了しなければなりません。次年度も継続する基金であれば前払いが可能です。補助金と基金の違いを覚えておいてくださいね。

ケース3： 研究成果発表のため、5月に参加した学会の旅費を当年度の新規課題で支出していた。

【正解】 △　競争的研究費を使用して出張する場合は、その出張が当該研究遂行のために必要なものでなければなりません。短期間での成果について、説明責任が問われます。



情報収集のための学会参加であれば、早期に行うこともあるかと思いますが、成果発表のための参加の場合、採択されてから研究成果発表までの期間が短い場合は、本当にその研究課題の成果なのかを研究代表者に確認し、説明責任が果たせるようにしておいてください。

特に、前年度のうちに学会参加登録が行われていた場合には、当年度の新規採択課題ではなく他の研究課題の成果発表ではないかと疑念を持たれてしまいますので要注意です。

なお、**科研費の課題番号8桁**のうち、**最初の2桁は採択年度をあらわしている**ので、そこを確認すれば、いつ採択された課題なのかが分かります。年度当初の研究成果発表の場合は、課題番号を確認し、それが今年度採択の課題番号だった場合は注意が必要です。

（例：25K12345　⇒　採択年度2025年度）

今回取り上げた3つのポイントの他にも、競争的研究費の注意点については、**過去のおうでぃっとめーる**（リンクはこちら）でも詳しく記載しておりますので、是非こちらもご一読ください。





研太

今回は「競争的研究費のチェックポイント」についてお伝えしました。
競争的研究費を執行する際は、「その研究課題に関するものなのか」をよくチェックすることが大事ですね！
支払証拠書類だけではその課題との関連性が不明確な場合は、教員へ確認したメモ等があるとより良いと思います。
競争的研究費はそれぞれの課題に研究期間があり、執行についても独自の使用制限がある場合もあるので、執行前には、必ずそれぞれの事務処理要領をよく確認しましょう！

ALLKANSANIPPON ALLKANSANIPPON ALLKANSANIPPON ALLKANSANIPPON ALLKANSANIPPON ALLKANSANIPPON

このコーナーでは、皆様からの疑問・質問をお待ちしています。
日頃の業務の中でのちょっとした疑問（なんでこんな作業が必要なのだろう）や、
いまさら上司や先輩に聞けないけれど、実はよく理解できていないことなど、
いただいたご質問には出来る限り誠意をもってお答えします！

Audit Cafe

毎月、監査室のスタッフが交代で「つぶやく」このコーナー！
今回のつぶやきは、「イスの上に○○」と言うお題のようです。
いったいどんな話になることやら・・・。

我が家には小学校男子の息子がいますが、彼のにぎやかな生活とそれに振り回される我が家の様子を少し皆さんに紹介しようと思います。



約 10 年間、男子を育ててきましたが、特に母親の私には理解できないことがたくさんあります。まず王道の男子あるあるかもしれませんが、学校からのプリント類はすぐに出てきません。ランドセルのどこかに埋もれていて、母に急かされると出て来ます。休み時間のサッカーのために学校に行き、筆箱にはお手製のねり消しがいつも入っています。そして大人には到底理解できないことですが、お友達との遊びの約束がいつも適当なのです。時間や待ち合わせ場所が曖昧に設定されているため、結局誰も来なかった、という切ない時間を過ごすことが何度もありましたが、あまり気にすることは無く、翌日にはもう忘れています。不思議ですね。



他にも小学生男子らしい行動はたくさんありますが、我が家の息子は特に生き物が大好きで、カブトムシやカマキリ、カナヘビやイモリまで、幼いころから様々な虫を観察・飼育してきました。最初の頃は気持ち悪くてワーワー騒いでいた私も、何年も続けばすっかり慣れ、カナヘビが多く生息する近所の空き地（カナヘビスポットと我が家では呼んでいますが）や、イモリが生息する池に一緒に行っては長ければ数時間に及ぶ捕獲作業に付き合い、腕前をあげていく息子に誇らしさを覚えるほどになりました。



そんな生き物ライフの中でも、忘れられないある事件があります。夏は主に水生昆虫や両生類の捕獲シーズンになるため、休日はいそいそと川を巡るのですが、ある時息子は珍し気なカエルを2匹捕獲し、ホクホクと持ち帰りました。1匹はきれいな緑色のカエルでしたが、もう1匹は拳ほどの大きさの、茶色くデコボコしたカエル（おそらくツチガエル）でした。数日観察したら川に返しに行こうという約束で、束の間のカエルライフが始まりました。ある日、残業で遅くなった旦那が夜に家に帰ると、誰もいないはずのリビングでぬめっとした視線を感じるのです。じっと目を凝らすと、椅子の背もたれの上に座った茶色いカエルと目が合いました。なんと、虫かごを脱走し、家族の帰りを特等席で待っていたのです。





以前はカブトムシが夜の玄関をブンブンと飛び回ったこともあり、様々な事件を経験したため冷静なもので、まず写真を撮り、その後そっと捕獲に成功したようです。翌朝息子は蓋をしっかり閉めておかなかったことを大いに怒られました。その後我が家では「カエル飼育禁止」のルールができたのは言うまでもありません。

最近はゲームや YouTube 等こどもの遊びも種類が増えて、メディアとの関わり方が重視されていますが、外で駆けまわったり、生き物と触れ合ったり、こども時代だからこそできる遊びを十分に楽しんで成長していってもらいたいものです。そして私も、まだまだ外遊びに付き合ってあげられるよう、体力維持に努めたいと思います。

監査室　K

最後までお読みいただきまして誠にありがとうございました。
引き続き、「おうでぃっとめーる」をどうぞよろしくお願い申し上げます。
バックナンバーは、監査室 WEB ページをご覧ください。

◆その他、各種お問い合わせは…

【電話でのお問い合わせ】
東北大学監査室
022-217-4874（監査室長：荒澤）
022-217-5680，4880（佐々木、齋藤、南部、河村、目黒）

【メールでのお問い合わせ】
東北大学監査室
kansa@grp.tohoku.ac.jp



メールマガジンの一部または全部を無断転載することを禁止します。
© 2010 Audit Office Tohoku University